

越前松平家ゆかりの明治美術

●会場 松平家史料展示室
●会期 平成27年10月16日(金)
～11月29日(日)
●休館日 11月5日(木)

長く続いた江戸幕府が終わり、天皇を中心とした新しい国家が作られていった明治時代、美術家たちの立場や環境は大きく変わっていきます。幕末から流入してきた西洋の技術や価値観、社会情勢や生活様式の変化の中で、明治期の美術家達は江戸時代までの技術や教養を受け継ぎながら、新しい時代に求められ、時代に相応しい絵画や工芸を模索し、制作していきました。今回のテーマ展では、福井ゆかりの画家たちと帝室技芸員の作品を中心に、越前松平家に伝來した明治時代の美術をご紹介します。

明治期の福井ゆかりの画家

明治期までの福井の主な人物をまとめた『越前人物志』や作品を集めた「南越帖」には、幕末から明治期の（元）藩士で絵を得意とした者や町絵師たちの姿を、うかがうことができます。例えば、幕末の福井藩士・島田雪谷は南画と四条派を学び、絵を得意としました。雪谷は、多くの弟子を抱え、明治維新後は作画により生計を立てています。その子・雪湖と墨仙は父に絵を学んだ後、明治後半に東京へ出て更に画塾等で絵を学び、中央画壇で活躍しました。

幕末から明治前半期には南画の人気も高く、福井においても越前三堂と称された長田雲堂・山田介堂・内海吉堂など南画家たちの作品も多く残されています。

また、福井では藩政時代から西洋の知識取得に積極的で、明治維新後も外国人教師を招聘するなど、西洋の科学・知識が学習されました。そのような土壤があった福井で西洋画を学んだ人物の中には、やがて福井県内外で図画教員を務めた佐野常成や東京で石版刷スターの原画を制作した波々伯部捨四郎がいました。



松平春嶽像 波々伯部捨四郎筆
越葵文庫・当館保管

帝室技芸員と明治の美術工芸品

帝室技芸員は、皇室による美術作家の保護と美術奨励を目的に設置され、明治23年（1890）から昭和19年（1944）までに79名が任命されました。明治時代には、絵画（日本画・洋画）、彫刻、刀剣、金工、陶芸、織物などの工芸、建築、篆刻、図案、写真と多岐にわたる分野から、40名が任命されています。終身制で、内国勧業博覧会での受賞など既に評価された美術家が任命されており、明治期の美術家にとって最高の名誉とされました。彼らの作品は、宮殿等に飾られたり、国内外への贈答品として用いられま



した。

また、明治期の美術、特に工芸品は西洋で人気があり、日本の輸出産業の一つとなりました。その背景には、19世紀後半に西洋で起こったジャポニズムがあります。培われてきた技術を背景に、新しいジャンルの作品や西洋の技術、意匠を取り入れた作品が作られました。

牧童図 柴田是真筆
福井市春嶽公記念文庫

展示資料目録

No.	資料名	所蔵	員数
1	南越帖	編集：福田源三郎	当館蔵
2	桜花群禽図	島田雪谷	福井市春嶽公記念文庫
3	山水図	島田雪湖	福井市春嶽公記念文庫
4	樹下高士図	島田墨仙	越葵文庫 当館保管
5	不老長春図	河野菱渚	福井市春嶽公記念文庫
6	山水画	長田雲堂	当館蔵
7	青山結屋図	山田介堂	個人蔵 当館保管
8	双鳥に鯉図	内海吉堂	当館蔵
9	勇姫像	佐野常成	福井市春嶽公記念文庫
10	松平春嶽像	波々伯部捨四郎	越葵文庫 当館保管
11	黒珊瑚製筆架	島雪斎・下絵：岸竹堂	福井市春嶽公記念文庫
12	牧童図	柴田是真	福井市春嶽公記念文庫
13	草花鮎図	望月玉泉	福井市春嶽公記念文庫
14	竹梅図	野口小蘋	福井市春嶽公記念文庫
15	梅に鳥図	原在泉	福井市春嶽公記念文庫
16	秋景鹿図屏風	杉谷雪樵	越葵文庫 当館保管
17	韓信跨ぐり図扇子	中島華陽	福井市春嶽公記念文庫
18	椿図扇子	岸竹堂	福井市春嶽公記念文庫
19	竹図扇子	中島有章	福井市春嶽公記念文庫
20	桜花図扇子		福井市春嶽公記念文庫
21	幹山焼錦手茶碗・同茶台		福井市春嶽公記念文庫
22	牡丹孔雀文様陶製花瓶		越葵文庫 当館保管
23	風月三昆図銀瓶	下地：藤本長養斎・画工：滝和亭・彫工：香川勝広	当館蔵
24	帯留各種	海野勝珉	福井市春嶽公記念文庫
25	花鳥芝山雜嵌象牙香箱		福井市春嶽公記念文庫
			1合

次回の展示

企画展 福井の甲冑

12月3日(木)～1月31日(日)

松平家史料展示室 展示解説シート No.92
平成27年10月16日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776)21-0489 FAX(0776)21-1489
担当 藤原千穂

印刷 宮本印刷